

(個別研修) 田中 邦子

研修テーマ：障害者と仕事について

1. 障害者支援施設における職業リハビリテーションを学ぶ
2. 企業における障害者雇用の工夫を学ぶ
3. 1.2.におけるアメリカとデンマークそれぞれの取り組みを比較する

研修地：アメリカ ワシントン州シアトル

研修日：5月1日～5月4日

▶ Easterseals Washington

1919年に創立された多機能型障害者支援団体。

全米に450箇所の支援活動の拠点があり障害児・者のための様々なサービスを提供しているNPO法人。

- ・本社にて就労支援チームのスタッフとミーティング。
ケースマネージメントの進め方、権利擁護について、など。
いずれも日本でのやり方と似ていて、それに伴う課題も類似していることに驚いた。



- ・就労部門の訓練施設を訪問、見学。
様々な障害を持つ人が通所し、ライフスキルや就労準備のための訓練を受けている。
日本の自立訓練と就労移行の事業所を合わせたような施設。カリキュラムも豊富であった。



- ・就職活動中の利用者さんと、採用面接直前の打ち合わせに同行。これから採用面接に行くのだがTシャツと短パンで現れた本人。履歴書のほかに、支援員と一緒に作成した自己アピール動画を持参していた。面接官に見せるそうだ。面接にはジョブコーチが同行。

- ・訓練施設を卒業し、就職した利用者の職場訪問。

郊外型ホテルにてハウスキーピング係として勤務4年目になるという利用者を直撃。

ジョブコーチ、雇用主であるホテルのオーナーにもそれぞれ話を聞くことができた。

本人の努力はもちろん、周りの人々の理解があってこそその職場定着、という好事例であった。

